

平成 28 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	測量学実習	担当教員	伊藤 勉(非常勤)		
学年学科	5年 建築学科	前期	必修	1単位(学修)	
学習・教育目標	(D-3 計測・制御系)100%		JABEE 基準1(1)(d)		
授業の目標と期待される効果： 建設工事の基本となる測量技術の内、測量機器の操作を、実習を通して学習し、測量士資格試験の基本となる技術を修得する。 目標となる項目は、 距離測量における自然誤差・器械誤差への対応 角測量での作業時間の短縮と適格性の確保 トラバース測量での精度向上への工程 水平測量・平板測量の適格性の確保		成績評価の方法： 測量実測データをレポート(30点)による得点率(%)により評価する。なお、成績評価に教室外学修の内容は含まれる。 達成度評価の基準： 以下の測量課題で、6割以上の内容に達していること。 距離測量が適格に出来る 角測量が適格に出来る トラバース測量が適格に出来る 水準測量・平板測量が適格に出来る			
授業の進め方とアドバイス： 演習なので、自主的な取り組みが必要である。 測量データの集計には情報処理の技術が必要であるので、十分に修得しておくこと。 測量成果の可否は、基本的な操作及び取り扱い方により影響するため、十分習熟し使いこなすことが必要である。					
教科書および参考書： 教科書： 測量学(上)(丸安隆和 著 コロナ社)					
授業の概要と予定：前期		教室外学修		ALのレベル	
第 1 回：距離測定(その1)		鋼巻尺による温度・定数等の補正		C	
第 2 回：距離測定(その2)				C	
第 3 回：角測量の実習(その1)		多角形による角測量の角補正		C	
第 4 回：角測量の実習(その2)				C	
第 5 回：トラバース測量の実習(その1)		閉合トラバース測量の精度		C	
第 6 回：トラバース測量の実習(その2)				C	
第 7 回：トラバース測量の実習(その3)				C	
第 8 回：中間試験					
第 9 回：平板測量の実習		平板測量による図化		C	
第 10 回：水準測量の実習(その1)		水準測量による往復測定の精度		C	
第 11 回：水準測量の実習(その2)				C	
第 12 回：水準測量の実習(その3)				C	
第 13 回：面積及び体積の測量実習		現地三斜による面積測定		C	
第 14 回：写真測量とGPS及び、その他の測量(その1)		応用測量の方法		C	
期末試験 第 15 回：期末試験の解答の解説など					

評価（ループリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
	距離測量における自然誤差・器械誤差への対応が8割程度できること	距離測量における自然誤差・器械誤差への対応が6割程度できること	距離測量における自然誤差・器械誤差への対応が6割程度できない
	角測量での作業時間の短縮と適格性の確保が8割程度できること	角測量での作業時間の短縮と適格性の確保が6割程度できること	角測量での作業時間の短縮と適格性の確保が6割程度できない
	トラバース測量での精度向上への工程が8割程度できること	トラバース測量での精度向上への工程が6割程度できること	トラバース測量での精度向上への工程が6割程度できない
	平測量・平板測量の適格性の確保が8割程度できること	平測量・平板測量の適格性の確保が6割程度できること	平測量・平板測量の適格性の確保が6割程度できない